

# 「安芸高田郷土(ふるさと)学交流会」とは?

子どもたち自身が「郷土理解学習副読本」などで学習した故郷の魅力や特徴の中から、興味を持ったものをさらに探究して発表する機会です。発表内容の企画から運営まで、取り仕切るのは児童・生徒。今年度は12月14日(土)に行われ、吉田中学校区、高宮中学校区、向原中学校区の3中学校区が発表。吉田中学校区はテレビの情報番組のワンコーナーというユニークな設定で安芸高田市の歴史や新たな地域の名所について発表しました。高宮中学校区は詩や音楽を交えて「原田のはやし田」や、地域を盛り上げる人々などを紹介。向原中学校区は災害を通して改めて見つめ直した向原町や安芸高田市の人口減少を食い止めるために自分たちに何ができるかを真剣な面持ちで訴えました。各学校区の趣向を凝らした発表内容から郷土への愛情を感じることができました。



6町全ての中学校区の児童・生徒がそれぞれのまちの魅力を群読で発表

吉田  
中学校区



様々な方へのインタビューを通して郷土の魅力を発表

高宮  
中学校区



川根柚子やはやし田などの歴史や魅力を紹介

向原  
中学校区



えびす茶を使ったケーキなど様々なアイデアを発表

子どもは  
地域の  
宝物

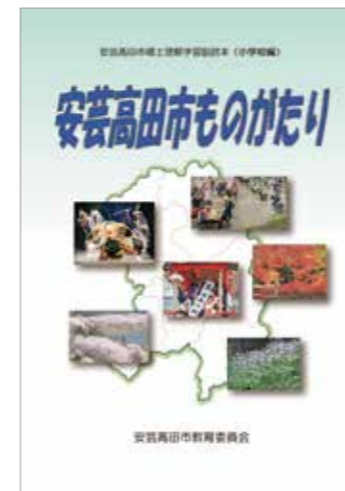
# 地域の子どもは 地域で育てる!



市では、地域の方や児童・生徒の保護者が一体となって子どもたちと関わる「地域で育てる」子育てを目指しています。児童・生徒たちにとっても地域の方と触れ合い、自分の暮らすまちについて興味を持つことは、故郷に愛着を持って成長することに繋がるはず。今回は市が力を入れている2つの事業を紹介します。地域全体で子どもたちにできることを考えてみませんか?



小学生用の  
「安芸高田市ものがたり」



## 安芸高田郷土(ふるさと)学

市教育委員会では郷土について学び、郷土を愛する心を育てる「安芸高田郷土(ふるさと)学」を推進しています。平成27年3月には市の特徴や歴史などを解説した「郷土理解学習副読本」を発刊。平成29年3月には、授業での活用事例をまとめた「授業実践事例集」を作成し、市内の小中学校に配布しました。副読本は小学校3年生以上の各学級に置かれ、社会科や総合的な学習の時間などで活用されています。また、昨年度から市内の全校児童・生徒の代表が参加して、これまで学習したことを発表する「安芸高田郷土(ふるさと)学交流会」も開催しています。市教育委員会では、今後も子どもたちが故郷に興味と愛着を持ちながら成長できるように取り組みを進めていきます。



中学生用の  
「郷土!安芸高田市」